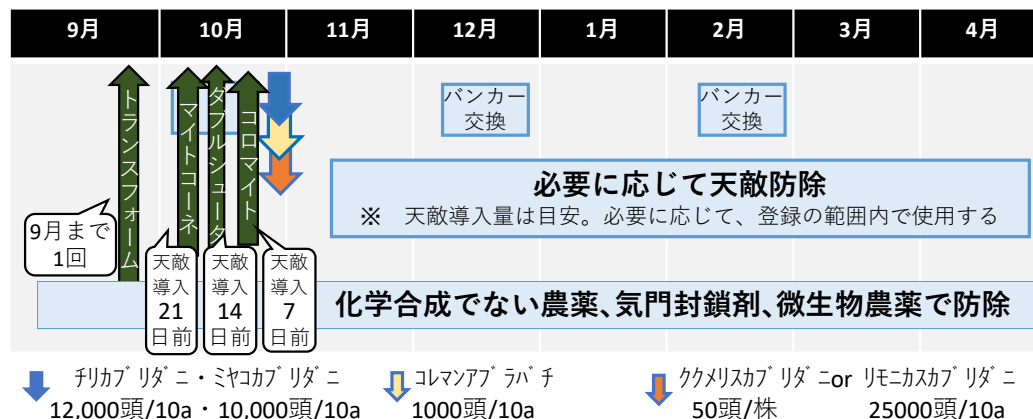


基本!

天敵・気門封鎖剤等で防除



天敵利用のポイント

- ★天敵導入前に防除を行い、害虫密度をゼロに近づける
- ★アブラムシ対策には、天敵と併せてバンカー（4個/10a）を設置する。バンカーは天敵導入1週間前に設置する
- ★天敵導入前に葉かきをし、天敵放飼後は1～2週間葉かきしない

気門封鎖剤、微生物農薬(例)

- ★気門封鎖剤（天敵に影響あり）
ハダニ：ムシラップ
サフオイル乳剤
アカリタッチ乳剤
ホコリダニ：サフオイル乳剤
アブラムシ：粘着くん
エコピタ液剤
うどんこ病：サンクリスタル乳剤
エコピタ液剤
- ★微生物農薬
うどんこ病：ボタニガードE S
ボトキラー水和剤

【推奨技術（任意）】

- ・防虫ネット（スリムホワイト）、光反射シート：アザミウマ対策
- ・高濃度炭酸ガス処理：ハダニ対策
- ・UV-Bライト：うどんこ病対策

- ・資料に記載のない薬剤で防除した場合は、それ以降の輸出向け出荷を停止し、国内向け出荷に変更する
- ・使用時期に*がある農薬で防除した場合は、その収穫前日数が経過するまでの間、輸出向け出荷を停止し国内向けに出荷する

天敵・気門封鎖剤で対応出来ない場合、薬剤防除

【定植後に使用可能な農薬一覧】（登録とは使用可能時期が異なります）
資料に記載のない薬剤は、定植後一切使用しないこと！

病害虫	薬剤名	使用時期 注1)	ミツバチ	天敵
ハダニ類	マイトコーネフロアブル	収穫開始21日前まで	1日	0日
	コロマイト水和剤	* 収穫7日前まで	1日	7日
	アフアーム乳剤	* 収穫前日まで	2日	7日
	ダブルシューターSE☆	* 収穫3日前まで	3日(注2)	14日(注3)
コナジラミ類 アザミウマ類	ベネビアOD	収穫開始14日前まで	1日	0日
	ダブルシューターSE☆	* 収穫3日前まで	3日(注2)	14日(注3)
	ディアナSC	* 収穫前日まで	3日	14日
アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤☆	* 収穫3日前まで	3日(注2)	14日(注3)
	トランスフォームフロアブル	9月末まで・1回	10日	0日(注3)
アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	収穫開始30日前まで	1日(注2)	14日
	チェス顆粒水和剤	* 収穫前日まで・1回	1日	0日
	ダブルシューターSE☆	* 収穫3日前まで	3日(注2)	14日(注3)
ハスモンヨトウ	スピノエース顆粒水和剤☆	* 収穫3日前まで	3日(注2)	14日(注3)
	アフアーム乳剤	* 収穫前日まで	2日	2日
	プレバソンフロアブル	* 収穫前日まで	1日	0日
	アタブロン乳剤	* 収穫前日まで	1日(注2)	14日
	ディアナSC	* 収穫前日まで	3日	14日
	シグナムWDG	収穫開始21日前まで	1日	0日(注5)
うどんこ	パンチョTF顆粒水和剤	収穫開始14日前まで	0日	0日
	ラリー水和剤	* 収穫7日前まで	0日	0日
	ストロビーフロアブル	* 収穫7日前まで	0日	0日(注4)
	パレード20フロアブル	* 収穫前日まで	1日	0日
	アフエットフロアブル	* 収穫前日まで	1日	0日
	シグナムWDG	収穫開始21日前まで	1日	0日(注5)
灰色かび	スミレックス水和剤	* 収穫7日前まで	1日	0日
	スミレックスくん煙顆粒	* 収穫7日前まで	1日	0日
	アフエットフロアブル	* 収穫前日まで	1日	0日
炭そ・灰色かび	セイビアーフロアブル20	9月末まで・1回	0日	0日

注1：ヘタあり残留分析の結果、台湾の基準値を超えなかった収穫前日数の事例を元に記載。

台湾の残留基準値を超えないと保証するものではありません。

注2：マルハナバチへの影響は定着後3～7日、ダブルシューター3日、モビラン1～3日、アタブロン4日

注3：コレマンアブラバチは死亡率高い。影響日数の知見なし

注4：リモニカスカブリダニには若干の影響あり。影響日数の知見なし

注5：クメリスカブリダニ成虫に影響あり

☆：同じ成分を含む

モベントの灌注は、育苗期であっても使用しないこと

* 2025.3.1調査の残留農薬基準値に基づいて作成。輸出前に輸出先国の関係法規を要確認。

* 台湾はヘタを含めた分析のため、日本の残留値（ヘタなし分析）と異なる可能性に注意。

* 不検出、0.01-0.02ppmの場合は開花前の使用でも残留農薬が検出される可能性あり。